AMR単剤療法

カルセド 45mg/m2  $day1\sim3$  適応: 小細胞肺癌

**MEC** 催吐リスク:

承認日: 2019年 10月 22日

10月 22日

2019年

審査日:

壊死性 血管外漏出リスク:

21日間 1サイクル期間:

Rp	時間	薬剤	投与方法	投与時間	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7	day8	~	day21
1	プライミング用	生理食塩水50ml	点滴静注		•	•	•							
2	10:00	ナゼアOD錠0.1mg 1錠	内服		•	•	•							
3	10:00~10:30	生理食塩水100ml+デキサート9.9mg	点滴静注	30分	•	•	•							
4	10:30~10:45	生理食塩水50ml+カルセド	点滴静注	15分	•	•	•							
5	フラッシュ用	生理食塩水50ml	点滴静注		•	•	•							
6	9:00	デカドロン錠4mg 2錠	内服					•						

プレメディケーション	特になし
	ジーラスタ皮下注の投与に関して:FNの発症率14%であることから、FN発症または重症化のリスクが高いと考えられる因子を 持つ患者ではG-CSFの一次予防的投与を考慮する
	溶解後は、25℃にて3時間以内に使用すること。必ず前治療で用いたアントラサイクリン系薬剤など新毒性を有する薬剤の総投与量を確認する。

## 【根拠となる論文】

J Clin Oncol 26:5401-5406, 2008. Akira Inoue et al; Randomized Phase II Trial Comparing Amrubicin With Topotecan in Patients With Previously Treated Small-Cell Lung Cancer: North Japan Lung Cancer Study Group Trial 0402